

「犬も歩けば棒に当たる」の心構えで：



愛南町長 清水 雅文

新年明けましておめでとうございませう。

皆さま方におかれましては、ご健勝にて輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は町行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年10月には、64年ぶりに初の単独開催となりました「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」が県民挙げて盛大に行われました。当町出身の選手

も大活躍をされたことは、町民の大きな誇りであり、それぞれに次なる舞台に向けて、さらなる高みを目指して欲しいと願うものであります。愛南町でも女子サッカー競技が行われ、延べ2,500人にもおよぶ町民の「オール愛南」としてのお接待は、多くの来町者の心に刻まれたところであり、この一体感をこれからのまちづくりにも活かしていきたいと考えております。

また、愛南町が誇る第1次産業の分野におきましても、注目のべき出来事がありました。

5月には、スマこと「伊予の姫貴海」が本格出荷となる一方、愛南オリジナルの新養殖魚「サツキマス」が水揚げされるなど、産官学の連携による取組が、着実に実を結び始めております。また、先頃は「水産業創成ファンド」のもと、「(株)愛南サン・フィッシュ」の加工場等建設用地として、長崎町有地を

貸し付けすることに對し、議会の承認をいただき、6次産業化のビジネス拠点として、今年の本格稼働が待たれるところであります。

一方、農業分野におきましても愛南町が誇る河内晩柑こと愛南ゴールドの果皮に多く含まれるオーラプテンという成分に認知症の予防効果があるとして、関係機関により特許出願され、今後は機能性表示食品として市販を目指しているということ

で、新たな需要に大きな期待を寄せているところでもあります。加えて、総合福利厚生サービス等を全国展開しております「(株)ベネフィット・ワン」の愛南出張所開設が決定し、年明け早々には、中村時広知事立会いのもと、協定締結の運びとなり、久々の企業誘致による雇用拡大にも、大きな期待をしております。

また、町民の皆さまの身近な存在として可愛がっていただ

ております「なーしくん」が昨年のゆるキャラグランプリの当地部門で見事10位に輝く快挙を遂げました。今後も「なーしくん」ともども、全国に愛南ファンを増やしていきたいと考えております。

今年も「犬も歩けば棒に当たる」は、積極的に行動すれば思いがけず良いことがあるという意味でもあり、賢い犬にあやかり「知恵」と「勇氣」を持つての行動力を発揮しながら「愛南創生」を着実に展開して参りますので、町民の皆さまには引き続き温かいご指導、ご支援を賜りまして、元氣と愛顔あふれる愛南町づくりのために、一層のご協力をお願いいたします。

本年が町民の皆さまにとりましても、幸多き飛躍の年となりますことをご祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新春に寄せて



愛南町議会議長 宮下 一郎
いちろう

あけましておめでとうございます。町民の皆さまに議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

先ずもって議会活動や町政に対しご理解とご協力を頂いていることに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、4月に町議会議員の改選が行われ、新しい議員が加わり新たな任期での議会がスタートした年でありました。私にとりましては、議員のご推挙により

議長という大役に就任させていただき、議会が町民の代表としてその役割を果たせるよう取り組んで来た年でありました。

また、愛媛県では初めての単独開催となりました「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」には開会・閉会式に出席し、愛南町で行われた女子サッカー競技には議員共々選手の活躍を観戦し応援いたしました。早くから準備し全町挙げて大会を盛り上げた記憶に残る「えひめ国体」であったと思うものであります。

新しい年を迎えまして、町民誰もが希望に満ちた年となることを願っていると思います。愛南町にとりましては、高速道路の柏・津島間の工事が着工されていますが、工事がこれまで以上に加速して一日も早い完成を望むものであり、更には未整備区間であります愛南町と宿毛市との高速道路が実現するよう強く要望していかねばならぬ

と思います。

少子高齢化社会の中で愛南町の人口は、町誕生以来、現在までに約6,600人減っていますが、町では、本町の基幹産業であります第一次産業を中心に産業振興策や活性化に取り組み、また、各種イベント等を実施して交流人口の拡大を図る等、働く場創りに力を入れていきます。更には若い世代が輝き安心して子供を育てられるよう新しい事業も取り入れて人口問題の課題解決を図っております。この人口減少については議会においても重要なことのひとつとして議論し意見や提言を行うことが必要と思っております。

議会において、近年、全国の町や村で議員の成り手不足が問題となっておりまして。本町でも将来若い年齢層の議員ができるのか心配する声もありますが、議会の中で議会のあり方等も含めて検討が必要と思えます。このためには議員が活発に意見を

出して議論できるような議会づくりに取り組んでいかなければと考えております。

今年一年、議会としましては、愛南町がともにあゆみ育て創造する町となるよう、議会と行政とが両輪となり議事機関としての役割を果たしていく所存でありますので皆さまのご支援とご協力をお願いします。

本年が、愛南町民の皆さまにとりまして、幸多い年となりますようご祈念申し上げます。新春のあいさつとします。

